



コラム

のみふる館内紹介

～テーマ展示室「白山曼茶羅図が描かれた時代。」～

今回取り上げるのは県指定文化財「絹本 著色 白山曼茶羅図」をご紹介します。「白山曼茶羅図が描かれた時代。」の展示室です。

8月11日は山の日。石川県民にとって山といえばやはり、白山ではないでしょうか。白山は石川県、福井県、岐阜県にまたがる活火山です。その雄大な姿から、古来から信仰の対象とされ、奈良時代の僧侶、泰澄が開山したと伝えられています。

のみふるでは県指定文化財「絹本著色 白山曼茶羅図」を所蔵しています。この曼茶羅図は絹の布に白山信仰の世界観が描かれており、3幅で一つの絵を構成しています。1幅がおおよそ縦160.5センチメートル、横80.5センチメートルで、泰澄一行の開山伝説や白山中宮から山頂に至る道中の伝承などが見られます。

白山へ登るルートは加賀（石川県）、越前（福井県）、美濃（岐阜県）のそれぞれからあり、この絵は加賀禅定道、つまり石川県から登るルートをアピールするために江戸時代に描かれたと考えられています。誇張された部分はあっても、写実的に描かれた部分もあり、現在の場所と見比べても特徴をつかんで描かれていることが分かります。

こちらの展示室では実物大のレプリカを展示し、曼茶羅図のスケールを感じながら、現在の写真と見比べて楽しんで、泰澄くん一行と山頂を目指す「すごろく*」で、描かれた伝説などを遊びながら学んだりできます。

山の日に、ぜひ市が誇る文化財「絹本著色 白山曼茶羅図」に触れてみてはいかがでしょうか？

※すごろくは感染対策のため休止中です。



テーマ展示室「白山曼茶羅図が描かれた時代。」

お知らせ

新グッズ販売中！！

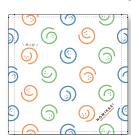
のみふる受付カウンターでは、さまざまなオリジナルグッズの販売を行っています。今年度新たに加わり、好評なのが「のみつけグッズ」です。子どもミュージアム「のみつけ」のロゴマークをあしらったかわいらしいグッズで、鉛筆や消しゴム、定規など、学校生活でも大活躍のグッズです！

のみふるでしか買えないグッズがたくさん！夏休みの思い出に、ぜひお買い求めください。



01

使いやすい
コットン素材！



コットンハンドタオル
税込 ¥200

02

ポップでかわいい！
MASKING TAPE



マスキングテープ
税込 ¥200

03

コンパクトで持ち運びの！
A6中綴じノート



A6中綴じノート
税込 ¥200

04

両面違う
デザイン！



消しゴム
税込 ¥100

05

クリアで
使いやすい！



定規
税込 ¥100

06

しっかり持てる
6角形！



鉛筆
税込 ¥100

※画像はすべてイメージです。実物とは異なる場合があります。

未来につなぐお人柄



エス！エス！エスディーゼス

SDGs

問/企画デジタル課SDG s推進室
(☎58-2220 FAX 58-2291)



SDG sってなんだろう？

SDG s (Sustainable (サステイナブル) Development (デベロップメント) Goals (ゴールズ))は日本語で持続可能な開発目標と訳され、2030年までに持続可能でより良い社会を目指す国際目標のことです。経済・環境・社会の課題を解決するための17のゴール・169のターゲットから構成され、『誰一人取り残さない』ことを誓っています。

目標5 ジェンダー平等を実現しよう

5 ジェンダー平等を実現しよう



男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう

誰もが活躍できる社会にするのだ！



女性の能力が発揮できる場所は、まだまだあるはず！

ジェンダーってなんだろう？

ジェンダーとは日本語で「社会的性別」と訳されます。例えば「男の子は青、女の子はピンク」「お父さんは会社で働いて、お母さんは家で家事をする」というように、男女の違いによって、周りの人が無意識に抱くイメージや役割分担があります。

- ・身体的な性別…生物学的性別。主に体の違い。
- ・ジェンダー…社会的性別。「男性はこうあるべき」「女性はこうすべき」という社会の中でつくられたイメージや役割分担。

女性のチカラが輝くまち

近年、災害時の避難対応について、女性の視点が重要視されています。例えば、避難場所の更衣室やトイレは男女別にする、授乳室を設けるなどは、女性の意見から取り入れられました。これまで、男性の関わりが大きかった活動に、女性が積極的に参画することで、女性や子どもが避難所で安心して過ごせる環境が整うようになってきました。

こうした中、令和2年10月、災害時にデリケートな支援が必要な人たちの側に立て、避難者支援や避難所運営などに携わる目的で、市消防団に女性分団「能美の女組」が発足しました。「地域へ貢献したい」という熱い志を持った女性16名で構成されており、普段はそれぞれ別々の仕事をしながら、火災防ぎ訓練や商業施設、事務所などでの消防用設備の点検、防火防災の啓発活動など、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

誰もが自分らしく活躍し、安心して暮らせる社会をつくるには、女性が能力を発揮し活躍できる場を広げること、女性の意見を取り入れることが必要となっています。これらを後押しするためにも社会全体で女性の活躍を推進することが大切です。性別による役割意識の固定概念にとらわれず、家庭や職場など自分の身近なところで、私たち一人一人の個性と能力を活かすために男女平等を実現していきましょう。



火災防ぎ訓練での活動



女性分団「能美の女組」発足式



のみSDG s
ホームページ

7月下旬に公開を予定していた「のみSDG s ホームページ」は8月8日に開催予定の「のみSDG s パートナースキックオフイベント」に合わせて公開することになりました。



いしかわ動物園にズームイン！

Zoo

文：いしかわ動物園

■ナイト ZOO 2022 開催！

今年は2年ぶりにナイトズーを開催します。この2年間で生まれた赤ちゃんや、新しく仲間入りした動物たちにとっては初めてのナイトズーです。そんな動物たちにとって、普段とは違う夜の動物園はどのように映り、どのような行動を見せてくれるのでしょうか。

やはり見どころは、ライオンなどのネコ科を中心とした夜行性動物でしょう。日中は昼寝をしたり、木陰で休んだり、のんびりとした姿を見かけることが多いと思います。特にオスの「クリス」やホワイトタイガーの「クラウン」は、暑さのせいなのか、あられもない姿で寝ていることもあります。主に夕方から夜間にエサを求めて活動する動物たちにとっては、日中は休む時間だからです。昨秋に仲間入りしたライオンの「ララ」やアムールトラの「月」はまだ子どもで、日中でも無邪気に遊んでいます。ナイトズーでいったいどのような姿を見せてくれるのか、とても楽しみです。

昼と夜では、動物たちの表情も全く違って見えます。暗闇の中を光で照らし出される動物たちの姿は、とても幻想的です。普段は見ることができない夜の動物たち。昼間とは一味違う動物たちの魅力を見つけに、ぜひナイトズーへ足を運んでみてはいかがでしょうか。詳細はいしかわ動物園ホームページをご覧ください。



夜は威風堂々とした姿を見せる「クリス」



あられもない姿で寝ているライオンの「クリス」



幻想的な夜のフクロウ



みんなの図書館

※開館時間、休館日については、市立図書館ホームページ、各図書館よりをご覧ください。

能美市はSDGs未来都市に選定されています。SDGs活動の一つとして、涼しい図書館で快適に読書しませんか？

おすすめの一般書



その意図は見えなくて

藤つかさ [著]
双葉社

僕たちの日常には、安楽椅子に座っていたら解決できないことがある。友情、ライバル、憧れ…。人間関係の「事件」の謎を解き明かす、青春ミステリー連作短篇集。

おすすめの児童書



ひろしまの満月

中澤 晶子 [作]
小峰書店

いま思い出しても心がぱりぱりとやぶれてしまいそうなかきこえを、かめは思い出ドアのむこうに、かくしていました。その日は、満月でした。1945年8月、ひろしまで起きたこととは…。戦争の記憶を伝え、平和を願う物語。

おすすめの絵本



まっくらあそびしよう！

はたこうしろう [作]
ほるぶ出版

おばあちゃんに泊まった夜、部屋がまっくらで、こわくて眠れない。すると、おにいちゃんが「まっくらあそび」を教えてくれて…。おもちゃを使った影あそびや、ライトとカメラを使ったライトアートの楽しみ方を紹介する絵本。

「家庭文庫おはなしのいえ 人形劇 ～32年間ありがとう～」

日時 8月6日(土)、17日(水)、20日(土)、27日(土)
14時～14時40分
(27日は10時～10時40分も実施)

場所 辰口図書館 2階ホール
申込先 辰口図書館カウンターまたは電話で
お申し込みください。

問い合わせ 辰口図書館 ☎ 52-8080 ☎ 52-0877



今月のイッピン！「九谷庄三 彩色金欄高砂図形徳利」

九谷庄三は江戸後期の文化年間に寺井村の茶屋を兼業していた農家に生まれました。幼名は庄七といい、嘉永年間頃に庄三と改名しています。庄七は叔父の茶屋で三郎に育てられましたが、祖父と血縁関係にあった寺井村十村役で文人でもあった牧野孫七のすすめによって陶工の道を進むことになりました。11歳の時に若杉窯の見習工として従事し、粟生屋源右衛門や赤松勇次郎ら名工から陶技の影響を受けました。その後、同じ再興九谷の小野窯や宮本屋窯で従事しながら、粟生屋源右衛門風の軟陶の青手や飯田屋八郎右衛門風の赤絵細描を習得しました。いくつかの窯の招聘に応じた後、天保12年(1841)、庄七26歳の時に寺井に帰郷し、工房を開き独立しました。やがて華やかな色絵に京焼の永楽和全の九谷に伝えた金欄手を加味し、さらに西洋絵具をも加えた庄三風ともいえるいわゆる「彩色金欄手」を確立しました。

当該作品は、この様式で撥形の徳利に吉祥文様の高砂の図を描いています。ハレの場にもふさわしい図柄が珍重されたことでしょう。また撥形は安定性が良く、粋な川船遊びなどに優雅に使用された可能性があり、十村で文人でもあった牧野家の影響もあったことでしょう。当時の華やかさを思わせるイッピン！なのです。(文・五彩館館長 中矢)

- 開館 40 年の歩み展第 1 弾「九谷焼収蔵コレクション展」
期間 8月7日(日)まで
会場 「五彩館」紫の間・緑の間
- 開館 40 年の歩み展第 2 弾「作家友の会会員作品収蔵コレクション展」
期間 8月23日(火)～10月12日(水)
会場 「五彩館」緑の間
※会期中、アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で景品をプレゼント

- 「能美市美術作家協会絵画部展」
期間 8月7日(日)まで ※最終日は16時まで
会場 ロビーギャラリー (入館無料)
- 「第 78 回現代美術展 能美展」(本紙最終ページ)
8月13日(土)、14日(日)にギャラリートークを行います。
期間 8月10日(水)～21日(日) (会期中無休)
会場 第一会場「五彩館」・第二会場「浅蔵五十吉記念館」

INFO

今月の手話

問/福祉課 ☎ 58-2230 ☎ 58-2294

手話表現：のみ商業協同組合 山田 邦央さん (ヤマダフォト)

思い出



①-1、2
指を軽く曲げ、手の平を上に向けた右手を、こめかみ辺りから斜め上へ揺らしながら上げる。



写真



①-1、2
左手で輪を作り、輪の前で開いた右手を素早く下ろす。(カメラのシャッターが下りるイメージ)



動画で「夏の楽しい思い出を、写真に残しましょう」の手話表現をご覧ください。ぜひ、アクセスしてみてください。



手話動画
配信中



わたしとこの町

File72 和光台



高齢者へ誕生祝いにプレゼントをする活動を行っています

私は職場の先輩であり元民生委員の方からの推薦で、6年前から和光台の民生委員・児童委員を務めています。民生委員として、高齢者や障がいのある方などを訪ね、健康状態や困りごとの相談を受け付けたり、話し相手になったりしています。

また子どもたちの登下校時には、学校近くの横断歩道で見守りを行っています。元氣のない子に励ましの言葉を掛けたり、普段と変わった様子がないか注意して見たりし、子どもたちの小さな変化にも気付けるよう目を配っています。今年からは見守り隊のほか、保護者の方も活動に協力してくれているので、とても助かっています。地域の宝である子どもたちを、見守り隊だけでなく町民みんなが見守る意識を持つ、そんな町にしていきたいと思っています。



子どもたちの安全を守るため、朝夕の通学路で見守り隊として活動しています

見守り隊の活動は大変なこともあります。毎年小学校では感謝会を開いてくれ、子どもたちから歌や花のプレゼントをいただくことは活動の励みとなっています。また小学生のときに見守りをしてきた子どもたちが、大きくなってからも、町内で会うとあいさつしてくれたり、声を掛けてくれたりして、その成長を見るのもうれしく思っています。



地域の見守り活動に励む

はしむかい けんいち
橋 向 賢一さん

File71 吉原釜屋町



砂丘地稲作発祥の碑

私は平成26年から2年間、吉原釜屋町の町内会長を務めていました。町内会長になった当時、町内の課題となっていたのは、やはり少子高齢化と過疎化でした。吉原釜屋町は能美市の端に位置し、市の中心街とは離れています。そのため、辺境と思われるがちですが、私は逆に、英語で言うフロンティア、つまり「発展の可能性がある地」と考えています。

この町を魅力ある町にして人口を増やすため、町内で課題を洗い出し、まずは虫食い状態となった休耕田をきれいにして整備することになりました。この地は砂丘地であるため、水がなく、稲作などは適さない場所でしたが、私の祖父の世代はここで、地下水による水田開発に取り組み、稲作を行っていました。しかし、年月の経過とともに劣化したポンプが壊れ、今では荒地状態となってしまったのです。



平成30年3月25日、能美根上スマートインターチェンジ（SIC）の開通を記念し、ウォーキングイベントが実施されました

この整備に向け、平成30年3月、町内会長経験者や地権者、地元各世代の方々も交え、コンサルティングも受け、吉原釜屋北工区土地区画整理事業準備委員会を立ち上げました。定例会は毎月22日に行っています。これまで地権者への説明や、隣接地権者との境界



地域振興に励む

もりやま なおき
森山 直喜さん